



第1課 親しくなるきっかけを作ろう (1)

— 好みや興味の話作り —

扉

導入

第1課では、好みや興味的话题を通して親しくなるきっかけを作っていくことを目指します。知りあつたばかりの相手でも、お互いの好みや興味に関する話が広がると、会話が続き、その会話をとお互いがどのようなタイプの人かも伝え合うことができるため、今後親しくなるきっかけが見つけやすくなります。このような好みや興味といった話題は一見話しやすそうですが、いざ日本人と会話してみると、なぜか話が續かなくて困ったという経験をした学習者もいるかもしれません。そのような経験がないか、ある場合はその具体的な内容を学習者に話しあわせてみましょう。

よくあるもやもや

- 話を聞く側の悩みです。自分と似ているところについて、相手に共感を示すとき、「いいね。」「私／おれ／ぼくも。」といった表現ばかり使っていないか、学習者に確認し、挙手させます。
→ **POINT 1**
- 話を聞く側の悩みです。自分の好みや興味と違うことが話題になったとき、自分のことをどのように相手に伝えて会話を続ければいいのかわからなかったことはないか、また、それを相手に伝えたがなぜか会話が續かなかったことはないか、学習者に確認し、挙手させます。
→ **POINT 2**

イラスト

STEP1 の〈もやもや会話〉の内容をイラストで表したものです。上級学習者にはこのイラストを見せながら、文字情報なしに会話のだいたいの内容や問題を把握させると良いでしょう。具体的な問題について考える作業は、次ページからのSTEP1で行うので、ここではあまり時間を取る必要はありません。



STEP1 考えよう

もやもや会話

【会話の内容と登場人物の心情】

大教室で、授業のあと静さん、さくらさん、マイクさんが話しています。三人はさくらさんが入るサークルについて話しています。静さんはさくらさんと似ているところがあるので、それを伝えて話をしたいと思い、「いいね。」と答えています。いっぽう、マイクさんはさくらさんと違うところがあるので、それを伝えて話をしたいと考え、「山岳サークル？ 危ないよ。」と言っています。しかし、さくらさんは二人の答え方を聞いて会話を続けにくいと感じ、困っています。この会話がなぜ続かないか、そのポイントを考えます。

質問

【解答例】

- ① 静さんやマイクさんから思っていたような返事が来ないから。／静さんが「いいね。」と同じ返事し
かさないから。 など
- ② お互いのことについて、あまり知ることができない。／さくらさんがサークルに入ることについて、
静さんはいいと思っていて、マイクさんは山岳サークルが危ないと思っていることしかわからない。
など

【指導のポイント】

- 静さんとマイクさんの答え方に注目させ、会話を続けるために二人はどのように話せばよかったのか考
えさせます。特に、さくらさんの話のあと、静さんが「いいね。」と同じ答え方をしている箇所、マイ
クさんが「危ないよ。」「絶対けがするよ。」という答え方をしている箇所に注目させ、そのような返
事は相手にどのような印象を与えるかについても考えさせてみてください。
- 三人それぞれの話に注目させ（以下参照）、その話を通してお互いのこと（タイプ）がどのくらいわか
るか考えさせます。

【話の注目点とそこからわかる三人のタイプの例】

- ・ さくらさん：「サイクリングと山岳と映画と国際交流のサークルに入る」、「全部月1回」、
「今日、山岳サークルを見に行く」
→ 例：いろんなことに興味がある、サークルは文化系も体育会系も好き、活発、行動的 など
- ・ 静さん：「多いー!」、「いいね。」
→ 例：さくらさんほど活発じゃなさそう など。



・マイクさん：「えーっ!」、「危ないよ。」、「絶対けがするよ。」

→ 例：さくらさんほど活発じゃなさそう など。

さくらさんはどのようなタイプかこの短い会話からもわかりますが、静さんとマイクさんの答え方からは、二人のこと（タイプ）がさくらさんほどよくわかりません。

- 質問①②の解答例を用い、会話が続かなければ、お互いのこと（タイプ）がよくわからず、親しくなるきっかけが見つけにくくなるので、会話を続けて親しくなるきっかけを得やすくするためには、どのように話せばよかったかをこの課で学んでいく。という流れで話すと、課のポイントがより明確になります。

スッキリ会話

<もやもや会話>と比べて、会話が楽しく続いていることを確認します。「<もやもや会話>の下線部のところは、POINT のような表現を使うと、会話がスムーズに続くようになります。そのポイントについて学習しましょう。」というような声かけを行い、次のSTEP2につなげてください。各POINTについて、ここで話しあったり、解説したりする必要はありません。

STEP2 学ぼう

POINT 1 自分と似ているところについて、いろいろな言葉で共感を示す

【指導のポイント】

- 共感のバリエーションを学びます。学習者は、「いいね」という共感を示す言葉を既によく知っていますが、それ以外のいろいろな言葉で具体的に共感を示す方法を学習します。このような共感の示し方ができれば、お互いのこと（タイプ）をもっと知り、親しくなるきっかけを得ることもできます。
- 学習者の中には共感を示す表現「～よね／な。」をつけなくても話が通じるからいいと考える人もいます。しかし、これらの表現がなければ、話の内容を相手に伝えるだけになってしまいます。「共感している」ことを相手にしっかり伝えることが関係構築の一步にもなり、また、自然な日本語の会話にもなりますので、大切な表現であることを確認しておきましょう。
- 「【名詞／動詞・い形容詞・な形容詞+の】って」は相手の話を受けて、それを自分が話題にする表現として使えます。
- 「評価の言葉」では、話題にしたものに対する自分の気持ち・考え・経験などを述べます。p.12の「2. 考え・印象・気持ちの伝え方」も適宜参照ください。



- 「私も【Vて形】てる」は「私も【Vて形】ている」の話しことば的な表現 (p.95「話しことば」参照) です。
- 「～が好き」の「が」を省略すると、より会話的です。ただし、「～ほうが好き」の形を使う場合は、「が」は省略できないことに注意させてください。
- 「私／おれ／ぼく」以外に、最近では「うち」も使われる傾向があります。

練習 1

【解答例】

- 1) 心理学入門の授業って、いろんなところで役立ちそうだよな／な。
私／おれ／ぼくも心理学系の授業 (が) 好き。
- 2) レストランって、会話が上達しそうだよな／な。
私／おれ／ぼくもバイトしながら、話す力をつけたい。
- 3) ごろごろするのって、楽しいよね／な。
私／おれ／ぼくも家で1日中まんが読んだり、インターネットしたりして

【指導のポイント】

- 「～よね／な」が抜け落ちていないか注意してください。
- 3) の「～って」の前は「ごろごろするのって」と名詞化できているか確認してください。
- 「私／おれ／ぼくも～てる」(習慣的行動)の形が言いにくいようなら、ここで少し練習しておくと、次のタスクがスムーズに行えます。例えば、次のような練習ができます。

例) ① 映画を見ている → 映画を見てる

② まんがを読んでいる → まんが読んでる

③ 音楽聞きながら、インターネットをしている → 音楽聞きながら、インターネットしてる

- 上級の学習者なら、相手の話に完全に共感できない場合でも、視点を少し変えることによっていろいろな形で共感が示せることを紹介してもいいでしょう。詳しくは、次の<タスク>の指導ポイント「相手の話完全に共感できない場合」を参照してください。
- レベルに応じて、「～て／～で／～から」と理由を入れて話す練習をしても良いでしょう。会話のきっかけが増えて、その後も会話が続けやすくなります。

例) 心理学入門の授業って、将来の仕事とかにも使えそうだから、いろんなところで役立ちそうだよな／な。



タスク

【指導のポイント】

- 練習1と同じ形式になっています。タスクを始める前に、練習1の例を紹介しながら、下線にはどのような言葉を入れるか確認しておくといいいでしょう。
- 相手の話に完全に共感できない場合、下の例の下線のように、いろいろな形で共感が示せることを紹介してもいいでしょう。（「レストラン」でも、「接客業」という点に共感を示している。）

例) A: バイト、何かしてる？

B: 今探してる。レストランがいいかなと思って。

A: 接客業って、会話が上達しそうだよね！ 私も接客業のバイトしながら、話す力をつけたい。

- 時間があれば、そのあとももう少し会話を続けさせましょう。

POINT 2 自分と違うところについて、もっと話してもらおう

【指導のポイント】

- 相手の好み・興味が自分と違っている場合に話をやめたりするのではなく、うまく会話を続ける方法を学習します。
- <もやもや会話>におけるマイクさんの「危ないよ。」の「危ない」というのは相手の立場に立って考えている表現ですが、「～よ。」という言葉は一方的な言い方になります。ですから、質問や「～けど。」という形式を使い、相手が話を続けやすいようにすることが大切です。
- 「否定的な評価の言葉」では、「【N】って」を使って相手とは違う部分を話題化したものに対して、相手とは違う自分の気持ち・考え・経験などを述べます。
- 「×」の会話例 (p.18) のように、相手の好み・興味などについて「つまらないんじゃない？」と直接言わないよう注意が必要です。学習者の国の文化によっては直接言っても問題ない場合がありますが、このような会話では相手を心配したりその大変さを考えたりして相手の立場になって話し、相手に嫌な思いをさせないことが大切です。

練習 2

【解答例】

- 1) カテキョって、教えるときの準備が多くて、大変なんじゃない (の) ? / 大変そうなイメージなんだけど。 など
- 2) 写真サークルって、お金かかるんじゃない (の) ? / かかりそうなイメージなんだけど。 など
- 3) 一人旅って、危ないんじゃない (の) ? / 危なそうなイメージなんだけど。 など



【指導のポイント】

- 否定的な評価の言葉の使い方に注意が必要です。相手を心配したりその大変さを考えたりして、相手の立場になって話せているか注意させてください。
- 「～んじゃない(の)?」のイントネーションに注意させてください。強い調子で言うと強い否定に聞こえることがあります。No4 や No2 の音声 (<スッキリ会話>のマイク「え、山岳サークルって、危ないんじゃないの?」 p.15) を聞かせながら確認してください。

タスク

【指導のポイント】

- 第3ターン「～って、～んじゃない(の)?」の否定的な評価の言葉が、相手に嫌な思いをさせていないか、イントネーションが強い調子で強い否定に聞こえていないか注意させてください。
- 会話が広がらず、続かないようなら、練習2の1)の解答例「カテキョって、教えるときの準備が多くて大変んじゃない(の)?」のように、「～て/～で/～から」という理由を表す表現を使って話すと、会話のきっかけが増えて会話が続けやすくなります。

STEP3 お互いについて知ろう

話そう

第1課では、大学で新生活を始めたばかりの留学生に共通することが多そうな話題を集めています。なかなか話すことが思いつかないペアには、教師が学習者の日々のスケジュールや大学での新生活のことなどを質問したりして、サポートをするといいでしょう。

【場面例】

場面を意識した会話の始め方に注意させます。

[場面を意識した始め方の例]

A: ああ、今日の授業やっと終わったー。

B: ほんとー。疲れたー。

A: 疲れたねー。今日はこの後バイト行くの?

B: うん。7時から。それまで時間があるから、ちょっとここに寄ってみた。Aちゃんも今日バイト?

A: うん。7時半からね。私もちょっと時間あるから、ここで休んでから行こうと思って。

B: そうなんだ。

A: うん。Bちゃんは、今日何のバイトなの?



B：ホテルのフロント。先週始めたばかりなんだ。

A：ホテルのフロントって、外国人のお客が来たら英語も使わないといけないから、大変なんじゃないの？…

【三者会話の場合】

学習者 A、B、C がいた場合、A の話に対して B が共感などを示したあとに続けて、C も同様に共感などを示します。

<会話録音の流れ>

- ・ 10分ほどしっかり練習したら、会話を録音させましょう。
- ・ 録音する会話の長さはスッキリ会話ぐらいです（1～2分）。
- ・ 即応力を鍛えるために、できるだけ会話のSCRIPTを作って読み上げることはさせないほうがいいでしょう。どうしてもSCRIPTを作成しなければ不安だという学習者には、ときどきSCRIPTから顔を上げて相手を見ながら話す、今後時間をかけてSCRIPTを作成せずに会話できるようにしていく、などを取り入れてみてください。
- ・ ペアごとに進度の差が出た場合、進度が遅いペアには録音をあとで提出させる、進度が早いペアには自分たちが録音した会話の続きをそのまましてもらおうといった対応もできます。
- ・ 学習者全員に録音した会話を提出させると、すべての学生の会話を聞くこともでき、またチェックリストに学習者のフィードバックを書いたり学習者の到達度をチェックしたりすることもできます。

発表しよう

【フィードバック上の注意点】

■全課共通

- ・ カジュアルな会話にふさわしい表現を使えているか。
- ・ 場面を意識した始め方ができているか。

■1課

- ・ POINT1・2で扱った表現パターンが適切に使えているか。
- ・ 否定的な評価の言葉は、相手に嫌な思いをさせないものか。
- ・ 相手と親しくなるきっかけ作りとして、お互いのタイプがわかるような言葉があったか。



【学習者の会話例と、フィードバック例】

学習者の会話例

1A：ああ、今日の授業やっと終わったー。

2B：ほんとー。疲れたー。

3A：疲れたねー。今日はこの後バイト行くの？

4B：うん。7時から。それまで時間があるから、ちょっとここに寄ってみた。

5：Aちゃんも今日バイト？

6A：うん。7時半からね。私もちょっと時間あるから、ここで休んでから行こうと思って。

7B：そうなんだ。

8A：うん。Bちゃんは、今日何のバイトなの？

9B：ホテルのフロント。先週始めたばかりなんだ。

10A：ホテルのフロントって、外国人のお客が来たら英語も使わないといけないから、大変なんじゃないの？

11B：ううん、全然。外国人のお客さんはほとんど来ない。

12：様々な方言を話す日本人のお客さんのほうが大変！

13A：そうなんだ。

14B：Aちゃんは、何のバイト？

15A：コンビニ。1週間に3回だけ。

16B：1週間に3回って、ちょうどいいよね。私も3回ぐらい働いて、お金貯めたい。でも、今1回だけ。

17A：そうなんだ。私もBちゃんも、バイト、頑張ろうね。

18B：うん。

フィードバック例（教師のコメント例）

★カジュアルな会話にふさわしい表現か

- 全体的にカジュアルな会話にふさわしい表現を使っているのがいいです。
- 12行目「様々な」は「いろんな」に変えると、話しことば的になります。

★場面を意識した始め方ができているか

- 「授業のあと談話室に来て、コーヒーを飲みながらおしゃべりする」という場面を意識した会話で、自然な始め方ができています。



★1課の学習項目について

Aさんへ

- 相手の話の中から、自分と違うところがうまく探し出せて、話題にできています。
- 相手と違うところに、否定的な評価の言葉を使って、質問ができています。「大変なんじゃない(の)?」と、相手の立場に立った聞き方ができていて、とてもいいです。また、そう思う理由も一緒に述べられていていいです。
- 9行目「先週始めた～」ですが、相手の質問に対して自分のこともつけ加えて答えているので、うまく自分のことが相手に伝えられています。
- 17行目「私もBちゃんも、バイト、頑張ろうね。」と言うと、会話が終わってしまうので、Bさんのバイトが1回だけの理由や、勤務時間、バイト内容などを聞くと、話がもっと続けられます。

Bさんへ

- 相手の話の中から、自分と似ているところがうまく探し出せて、話題にできています。
- 評価の言葉を使って、うまく共感できています。
- 14行目で相手に質問して、うまく話が続けられています。
- 16行目「私も3回ぐらい働いて、お金貯めたい。」という内容だけでなく、さらに「でも、今1回だけ。」と自分のことも一緒に話せていていいです。相手に自分のことがより伝えられています。

コラム① 答えて終わり？

【指導のポイント】

- POINT1は、共感を示す表現のあとに自分のことも付加して話す技術ですが、このコラムでは、相手に質問されたことに答える際に、自分の情報を付加して答える方法を扱っています。この方法も、相手と親しくなるきっかけ作りになります。
- <好み><理由><経験>のAの質問に対し、どのような答えが考えられるか、クラスで一緒に考えてみる時間を取っても良いでしょう。